

2020年1月20日

日本ユニシス・エクセリューションズ
3Dプリンター用スライス処理ソフト「AMmeister®」の
新バージョン Ver2 を提供開始
- 光造形向けサポート自動設計機能を開発 -

日本ユニシス・エクセリューションズ（以下 UEL）は、3D プリンター用スライス処理^(注1) ソフトウェア「AMmeister（エーエムマイスター）」の新バージョン Ver2 を、2020 年 2 月に販売開始します。

Ver2 では、光造形 3D プリンター向けのサポート自動設計機能を提供することにより、サポート作成からスライス処理までの一連の工程が AMmeister 単体で完結するため、利便性が大幅に向上します。UEL は、今後も 3D プリンターを活用したものづくりや業務プロセス改革を支援します。

【開発の狙い】

近年産業界では、市販されている汎用の 3D プリンターを利用するのではなく、自社製品の材料や製造プロセスを実現するため独自の 3D プリンターを開発する動きが増えています。しかし、独自の 3D プリンターに適したスライス処理ソフトの開発が困難なケースも多く課題になっていました。AMmeister Ver2 では、このようなユーザーの利用も見込んで開発を進めてきました。^(注2)

Ver2 では、スライス処理機能の強化に加え、光造形 3D プリンター向けのサポート自動設計機能を開発しました。サポート形状の作成パターンを絞ることにより、販売価格を抑えた機能提供を実現しています。さらに従来の「買い取り」モデルから「サブスクリプション」方式に販売方式を変更し、初期コストを抑えた導入が可能となりました。

【Ver2 の特徴】

- スライス処理機能の強化

STEP、IGES、CADmeister®に対応した、CAD インタフェースオプションを用意しました。STL^(注3)へ変換する手間なくスライスデータ^(注4)を作成できるようになります。

モデルの大容量化に対応するため、データ量を制限することなくスライス処理を可能にしました。このことにより大容量のデータも精度を保ったまま、分割することなく造形が可能となります。

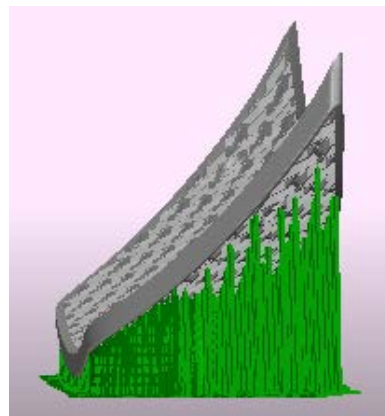
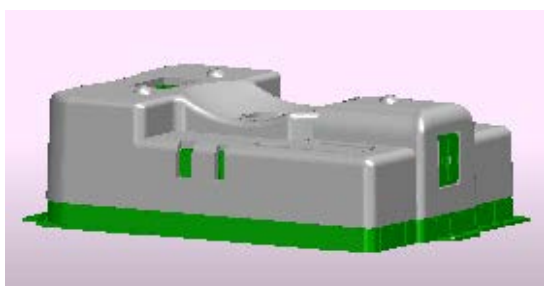
- サポート自動設計機能

- ① サポートの自動作成機能によりオペレータの負荷軽減
- ② サポート形状不良に起因する造形失敗を減らす
- ③ 造形後にサポート除去がしやすい

作成されたサポート形状は STL フォーマットで出力できるため、AMmeister のスライス機能を利用しないユーザーも、サポート自動設計機能を単独で利用することが可能です。

主なサポート設計機能は、以下の通りです。

- ・ブロック形状のサポートを自動作成
 - サポート形状作成条件設定
 - サポートが必要な個所の自動認識
 - ブロックの分割機能
 - 抜き穴の作成機能
- ・マニュアルでのサポート作成
 - 点サポート作成機能
 - 斜めサポート作成機能
- ・モデルとの接点部分の尖り形状作成機能



【パッケージ内容と販売価格】

販売を開始するパッケージは以下の通りです。

なおパッケージ②③は、AMmeister に対応している 3D プリンターメーカー経由での販売です。

- ① AMmeister-SUPPORT-PKG (光造形用サポート自動設計) ¥1,000,000/年額 (税別)
- ② AMmeister-SLICE-PKG (スライス処理)
- ③ AMmeister-SLA-PKG (スライス処理+光造形用サポート自動設計)

【販売目標・採用実績】

- ・3D プリンターメーカー向けに、3年間で100セットの販売を見込んでいます。
- ・株式会社エスケーファインより、国産初のセラミック3Dプリンター「SZシリーズ」での採用が決定しています。

【イベント出展のご案内】

UELは、1月29日(水)～31日(金)に東京ビッグサイトで開催される「TCT Japan 2020 ～3Dプリンティング/AM技術の総合展～」に「AMmeister」をはじめ、当社が提供するものづくりソリューションを展示します。

「TCT Japan 2020 ～3Dプリンティング/AM技術の総合展～」

開催日時 : 2020年1月29日(水)～31日(金) 10:00～17:00

開催場所 : 東京ビッグサイト 南4ホール 小間番号4S-C04

入場 : 無料(公式WEBサイトでの招待券事前登録制)

事前登録先 : <https://jcd-event.smktg.jp/public/application/add/423?lang=ja>

注1：スライス処理

3D プリンターで造形を積み上げていく間隔と同じ間隔で、造形したいモデルから輪切り状の輪郭データを作る処理

注2：独自 3D プリンターへの対応

独自 3D プリンターへの対応には、インタフェースソフトウェアの開発が別途必要です。

注3：STL

「Standard Triangulated Language」の略。このファイル形式では、三次元の立体を小さな三角形ポリゴンの集合として表現しています。ほとんどの 3D プリンターが STL のファイル形式に対応しています。

注4：スライスデータ

3D プリンターで造形する際に造形材料を積層していくデータのこと。

<関連 URL>

3D プリンター用スライス処理ソフト「AMmeister」

<https://www.excel.co.jp/polygon/am/>

株式会社エスケーファイン セラミック 3D プリンター「SZ シリーズ」

<https://sk-fine.co.jp/molding.php>

TCT Japan 2020「国内最大級 3D プリンティング & AM 技術の総合展」

<https://www.tctjapan.jp/index.html>

※AMmeister、CADmeister は、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社の登録商標です。

※その他、記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

<お客さまお問い合わせ窓口>

電子メール：polygon@ml.excel.co.jp

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/